

報道発表

平成30年3月9日

文化審議会答申
～国宝・重要文化財（美術工芸品）の指定について～（抜粋）

文化審議会（馬^ま淵^{ぶち} 明^{あき}子^こ会長）は、3月9日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、5件の美術工芸品を国宝に、50件の美術工芸品を重要文化財に指定することについて、文部科学大臣に答申しましたので、お知らせします。

詳しくは、別添の資料「Ⅰ. 答申内容」、「Ⅱ. 解説」、「Ⅲ. 参考」を御覧ください。

なお、今回答申を受けた文化財の一部は、平成30年4月17日（火）から5月6日（日）まで東京国立博物館本館（東京都台東区上野公園13-9）にて、特集「平成30年新指定国宝・重要文化財」展で公開します。

＜担当＞ 文化庁文化財部美術学芸課

課長	圓入 由美	（内線 2884）
課長補佐	樋口 理央	（内線 2885）
主任調査官（絵画の部）	朝賀 浩	（内線 2890）
主任調査官（彫刻の部）	奥 健夫	（内線 2891）
調査官（工芸品の部）	伊東 哲夫	（内線 2889）
主任調査官（書跡・典籍、古文書の部）	藤田 励夫	（内線 2888）
主任調査官（考古資料の部）	原田 昌幸	（内線 2892）
調査官（歴史資料の部）	地主 智彦	（内線 2893）
調査指導係長	河北 百合	（内線 2887）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-2887（直通）

I. 答申内容

1. 国宝（美術工芸品）の指定

<絵画の部>

（重要文化財を国宝に 1件）

- ① しほんちやくしよくじつげつ し き さんすい ず 紙本著色日月四季山水図六曲屏風 一双

<彫刻の部>

（重要文化財を国宝に 2件）

- ① もくぞうせんじゆかんのんりゆうぞう れんげおういんほんどうあんち 木造千手観音立像（蓮華王院本堂安置） 一千一軀
- ② もくぞうしてんのうりゆうぞう 木造四天王立像 四軀

<書跡・典籍の部>

（重要文化財を国宝に 1件）

- ① こんしきんじたいほうしゃくきょうかんだい こうらいこくきんじたいぞうきょう 紺紙金字大宝積経卷第三十二（高麗国金字大蔵経） 一卷

<古文書の部>

（重要文化財に有形文化財を追加して国宝に 1件）

- ① すがうらもんじょ 菅浦文書（千二百八十一通） 六十五冊
- すがうらとおおうらしものしょうさかい えず 菅浦与大浦下庄堺絵図 一幅

2. 重要文化財（美術工芸品）の指定

<絵画の部>

（重要美術品を重要文化財に 1件）

- ① しほんぼくがたんさいののみや ず いわさかつもち 紙本墨画淡彩野々宮図岩佐勝以筆 一幅

（有形文化財を重要文化財に 8件）

- ① こふんへきが キトラ古墳壁画 五面
- ② けんほんちやくしよくちこうまんだら ず 絹本著色智光曼荼羅図 一幅

- ③ けんぽんちやくしよくくまのまんだらず 絹本著色熊野曼荼羅図 一幅
- ④ なんふう わ ださんぞう 南風和田三造筆 一九〇七年 一面
あぶら え 油絵 麻布
- ⑤ しほんぼくがか そねはんず 紙本墨画果蔬涅槃図 いとうじゃくちゆう 伊藤若冲筆 一幅
- ⑥ しほんぼくが たんさいぼくふ ず 紙本墨画淡彩瀑布図 まるやまおうきよ 円山応挙筆 一幅
安永元年四月の年記がある
- ⑦ けんぽんちやくしよくみろくげしやうへんそうず 絹本著色弥勒下生変相図 りせい 李晟筆 一幅
- ⑧ けんぽんちやくしよくあみ だじやうどず 絹本著色阿弥陀浄土図 一幅

<彫刻の部>

(有形文化財を重要文化財に 11件)

- ① もくぞううんちゆうくよう ぼさつぞう 木造雲中供養菩薩像 一軀
- ② もくぞうかんのん ぼさつざぞう 木造観音菩薩坐像 一軀
- ③ もくぞうしやうとくたいしりゆうぞう 木造聖徳太子立像 一軀
- ④ もくぞうじぞう ぼさつりゆうぞう 木造地藏菩薩立像 一軀
- ⑤ もくぞう あみ だにやらいりゆうぞう 木造阿弥陀如来立像 かいけい 快慶作 一軀
- ⑥ もくぞうしてんのうりゆうぞう 木造四天王立像 しやうそん (焼損) 四軀
しよざいじきどう (所在食堂)
- ⑦ もくぞうやしやじんりゆうぞう 木造夜叉神立像 二軀
- ⑧ もくぞうしてんのうりゆうぞう 木造四天王立像 りゆうけん 隆賢作 四軀
- ⑨ { もくぞう に うみやうじんざぞう 木造丹生明神坐像 一軀
もくぞうこうやみやうじんざぞう 木造高野明神坐像 一軀
- ⑩ もくぞうしんのうめん 木造神王面 一面
- ⑪ { もくぞうけんぼう しどんざぞう 木造乾峯土曇坐像 一軀
もくぞうがくおうちやうぼざぞう 木造岳翁長甫坐像 一軀

<工芸品の部>

(有形文化財を重要文化財に 7件)

- ① べにあや じ きっこうひしたすきもんようそうかの こしほりこそで 紅綾地亀甲菱襷文様総鹿子絞小袖 一領
- ② うすきちりめん じ たかついたてもんようゆうぜんぞめふりそで 薄黄縮緬地鷹衝立文様友禅染振袖 一領
- ③ つるうめもどきめじろまきえじくぼん 蔓梅擬目白蒔絵軸盆 はらようゆうさい 原羊遊齋作 一枚
さかいほういつ 酒井抱一下絵
- ④ のうしょうぞく 能装束 四領
- ⑤ こうちおおがめこうごう 交趾大亀香合 一合
- ⑥ きんぎんと きっかもんちらしどうすいびょう 金銀鍍菊花文散銅水瓶 一口
- ⑦ いろえつばきもんおおざら 色絵椿文大皿 なべしま 鍋島 二枚

<書跡・典籍の部>

(重要美術品を重要文化財に 1件)

- ① げんじものがたり みゆき 源氏物語行幸 一帖

(有形文化財を重要文化財に 3件)

- ① げんじものがたり いけだほん 源氏物語(池田本) 四十九帖
- ② こんしきんじほけきょう 紺紙金字法華経 八卷
- ③ こうらいばんだいはんにやきょう 高麗版大般若経 百六十五帖

<古文書の部>

(有形文化財を重要文化財に 4件)

- ① たいらのきよもりうけぶみ 平清盛請文 一幅
- ② みょうつうじきしんふだ 明通寺寄進札 三百九十六枚
- ③ ちょうめいじもんじょ 長命寺文書(四千五百六十七通) 四十卷、九百八十二冊、
三千八十五通、四十七鋪、
六十四綴、百四十三枚
- ④ とうじれいほうぞうもんじょ 東寺靈宝蔵文書(二百三十六通) 八卷、二十七冊、二百通、一鋪

<考古資料の部>

(有形文化財を重要文化財に 7件)

- | | | |
|---|--|----|
| ① | <small>ならけん</small> 奈良県 <small>こふんしゆつどひん</small> キトラ古墳出土品 | 一括 |
| ② | <small>ほっかいどう やちよ</small> 北海道八千代A遺跡 <small>いせきしゆつどひん</small> 出土品 | 一括 |
| ③ | <small>あおもりけん たんごたいこふんぐんしゆつどひん</small> 青森県丹後平古墳群 <small>しゆつどひん</small> 出土品 | 一括 |
| ④ | <small>ふくしまけん あらやしきいせきしゆつどひん</small> 福島県荒屋敷遺跡 <small>しゆつどひん</small> 出土品 | 一括 |
| ⑤ | <small>いばらきけんさんまいづかこふんしゆつどひん</small> 茨城県三味塚古墳 <small>しゆつどひん</small> 出土品 | 一括 |
| ⑥ | <small>ならけん からこ</small> 奈良県唐古・鍵遺跡 <small>かぎいせきしゆつどひん</small> 出土品 | 一括 |
| ⑦ | <small>しまねけんかみえん やつきやまこふんしゆつどひん</small> 島根県上塩冶築山古墳 <small>しゆつどひん</small> 出土品 | 一括 |

<歴史資料の部>

(重要文化財を分割して重要文化財に 1件)

- | | | | |
|---|---|--|----|
| ① | { | <small>みんこくさつぷ</small> 明国笥付 <small>うえすぎかげかつあて</small> 上杉景勝宛 | 一幅 |
| | | <small>みんかんぷくるい</small> 明冠服類 <small>ぶんろく</small> (文禄五年) <small>うえすぎかげかつじゆぞう</small> 上杉景勝受贈 | 一括 |

(重要美術品を重要文化財に 1件)

- | | | | |
|---|---|--|----|
| ① | { | <small>あんなんこくだいととうかんげんこうしよかん</small> 安南国大都統官阮 <small>かとうきよまさ</small> 加藤清正宛 | 一幅 |
| | | <small>あんなんこくだいととうかんげんこうしよかん</small> 安南国大都統官阮 <small>かとうきよまさ</small> 加藤清正宛 | 一幅 |

(有形文化財を重要文化財に 6件)

- | | | | |
|---|--|--|----|
| ① | <small>えどばくふしよもつかたかんけいしりょう</small> 江戸幕府書物方関係資料 | 一括 | |
| ② | { | <small>あんなんこくふくとどうふくぎこうげんしよかん</small> 安南国副都堂福義侯阮 <small>にほんこくこくおう</small> 日本国国王宛 | 一通 |
| | | <small>あんなんこくぶんりこうしよかん</small> 安南国文理侯書簡 <small>にほんこくしょうにんいちろうへきざんはくとう</small> 日本国商人市良碧山伯等宛 | |

Ⅱ. 解説

【重要文化財（美術工芸品）の指定】

<絵画の部>

（有形文化財を重要文化財に）

① キトラ古墳壁画 こふんへきが 五面

【所有者】国（文部科学省所管）

【大きさ】東壁 縦112.1cm 横203.7cm
西壁 縦112.8cm 横204.2cm
南壁 縦95.7cm 横72.8cm
北壁 縦112.2cm 横105.7cm
天井 縦105.8cm 横169.3cm

高松塚古墳に次いで発見されたキトラ古墳の壁画。四方四神と十二支並びに天空の天文図が表現される。高松塚では滅失している朱雀すざくが良好な状態で残っていたことは貴重で、天井の天文図も東アジア最古例として極めて重要な遺例である。我が国の絵画史の幕開けを飾る重要作例である。（飛鳥時代）



<考古資料の部>

（有形文化財を重要文化財に）

① 奈良県キトラ古墳出土品 ならけん こふんしゅつどひん 一括

【所有者】国（文化庁保管）

キトラ古墳壁画体験館四神の館保管

古墳は奈良県明日香村にあり、高松塚古墳と並ぶ我が国二例目の大陸風の彩色壁画が描かれた飛鳥時代の古墳として著名である。本件は、石室から出土した木棺かざりがなくの飾金具、刀装具とうそうぐ、玉などから構成される一括で、金銀装帯執金具残欠や金銅透彫座金具きんぎんそうおびとりかなぐざんけつなど類例の希な遺物を含む。畿内中枢部における終末期古墳の葬送の実態を示す遺物として、学術的価値が高い。（飛鳥時代）

